タイトル：**精華台小学校の児童が、茶道体験をしました。**

きょうとまるごとお茶の博覧会実行委員会事務局です。

７月４日 (金) 日本茶インストラクター５名の方々が、
精華台小学校の６年生 １００人の皆さんへ、
美味しい茶道体験と抹茶の点て方を教えに来てくれました。

精華台小学校の６年生は、約 １０日後の ７月 １５日にパキスタン・イスラム共和国出身の方々を学校へお招きしてお茶でおもてなしする予定です。
おもてなしに向けて、日本茶インストラクターの方々からどんなことを学んだのでしょうか？

今回は、その様子をレポートしていきます！📝

始めに、日本茶インストラクターから
茶道の基本である「和敬清寂」を教えてもらいました。

難しい言葉ですが、
普段の学校生活の中に落とし込んでわかりやすく
教えてもらったので、児童たちは
どんな時も心を落ち着かせて相手や道具を敬うことの
大事さをしっかり勉強できました。

和敬清寂の心を学んだ後、
お辞儀の仕方について学んでいきます。
普段のお礼は立ってしているけど、
座ってするお礼にはいくつも種類があるんだって。
みんな背筋を伸ばしてかっこよくお礼ができていました。

つぎは男の子と女の子で違う色の袱紗を手に持って
おもてなしをする「亭主」の大事な「袱紗捌き」を
教えてもらいました。
その後、袱紗の向きや折る方向を児童同士で教えあって
いました。
和敬清寂の「和」の心ですね！

次は亭主と客に分かれておもてなしの実践です。
亭主になった児童は濃茶として飲めるグレードの
おいしい抹茶をこぼれ落ちないように、心を落ち着かせて
丁寧に棗から茶碗に移していきます。

目の前の客である友達のために茶筅を振って抹茶とお湯を
攪拌させていきます。
児童たちは「疲れる―！」と言いながら笑顔でしっかり
馴染ませていきました。

美味しいお菓子と抹茶をいただいて
とってもおいしそうでした。
自分が点てた抹茶を飲んでもらって
点てた児童も飲んだ児童もニッコリ。

最後に飲み終わったらお茶碗をぬぐって
きれいにして返します。

おもてなしをする側もされる側も気持ちいい
おもてなしの時間でした。

今後、児童の皆さんが、今回の茶道体験で学んだことを活かし、
パキスタン・イスラム共和国の皆さんに素敵なおもてなしができることを楽しみにしています🍵

日本茶インストラクターのみなさん、精華台小学校の先生方・児童の皆さん、
素晴らしい授業にお邪魔させていただきありがとうございました！

「おまけ」
今回は ６年生 １００人というとても多い児童数でしたので、
裏方では日本茶インストラクターのみなさんと一緒に
教頭先生も大忙しでした。

交流当日は、おもてなしをする児童も裏方で頑張る児童も先生も
一緒になっておもてなしを成功させていきましょう！！ (*　０　)/